

# Congratulations

## 受賞おめでとうございます

小・中学生  
人権書道・作文コンクール

栃木人権擁護委員協議会では、人権思想の普及高揚の一環として、人権書道・作文コンテストを行いました。

このコンテストは、次代を担う小・中学生を対象に書道・作文を書いてもらうことにより、人権尊重の重要性、必要性について理解を深めてもらうと同時に、豊かな人権感覚を見つけてもらうことを目的としたものです。審査の結果、本市より以下の方がそれぞれ各賞を受賞されました。  
(敬称略)

《小学生人権書道コンテスト》

最優秀賞

関田 文香(緑小3年)

近藤 光(国分寺西小3年)

川上早百合(吉田東小5年)

齋喜 萌菜(古山小5年)

山中 彩可(国分寺小5年)

関田 千聖(緑小6年)

優秀賞

丸山 文崇(石橋北小3年)

館野 若菜(国分寺小4年)

奨励賞

中島想世子(薬師寺小3年)

大海 暢克(吉田西小4年)

押山 郁流(石橋小4年)  
堀 あすか(細谷小5年)  
和泉玖里恵(祇園小6年)  
櫻井 穂子(国分寺東小6年)

《中学生人権作文コンテスト》

最優秀賞

小川 理菜(石橋中2年)

齋藤 綾夏(国分寺中1年)

優秀賞

臼井 麻衣(石橋中1年)

渡邊 光(国分寺中3年)

薄井 綾乃(国分寺中2年)

奨励賞

法師人 僚(南河内中1年)

中川 晴菜(南河内第二中1年)

\* なお、最優秀賞の小川理菜さんは、栃木県大会において奨励賞を受賞されました。

第1回 下野市

理科研究審査会優秀作品

11月9日(木)、下野市役所石橋庁舎で市内小中学校理科主任の先生を審査員として招き、第1回の下野市理科研究審査会を開催しました。

校内審査を経て出品された、小学校計91点、中学校計13点の合計104点の中から、次の作品が優秀作品に選ばれました。  
優秀賞受賞作品は下都賀地

区の審査会へ出品します。  
受賞おめでとうございます。  
(敬称略)

小学生の部

【第1学年】

矢田部日向子(緑小)

「ありのかんさつ」

小嶋隆一郎(国分寺小)

「水につくものとしずむもの」

野村柚衣子(国分寺小)

「かみでなぜ

てがきれるのか」

【第2学年】

佐藤 翼(緑小)

「ダンゴ虫のけんきゅう  
〜ダンゴ虫のふしぎ〜」

三宅 真央(緑小)

「どうしてめが出るのかな」

大橋 智洋(国分寺小)

「よくまわる『こま』って

どんなこま？」

【第3学年】

津川 貴恒(薬師寺小)

「植物の成長について」

石田幸一郎(石橋小)

「ふくおかのおじいちゃん

の家の回りで見つけた」

齋藤 瑞穂(国分寺小)

「びっくりみかんの皮しらべ」

【第4学年】

須田 琢己(緑小)

「めざせカラム焼きの達人」

館野 結香(石橋小)

「日本のたんぼぼが  
せいようたんぼぼに  
負けてしまった理由」

【第5学年】

篠崎 仁美(緑小)

「夏休みのインゲン豆日記」

今泉志紀乃/大山智恵子

(石橋小)

「駄を作ってみよう」

青木 莉佳(古山小)

「浮草の研究」

瀬尾 篤(古山小)

「さびの研究」

【第6学年】

高山 大地(薬師寺小)

「落体の研究」

松崎 悠(緑小)

「ふしぎな噴水」

井上 雄貴(緑小)

「衝突における

ダメージの測定」

秋山 優太(石橋小)

「シャボン玉を大きく

美しくする研究」

櫻井 穂子/櫻井 周平

(国分寺東小)

「不思議いっぱい

スライムの実験」

中学生の部

【第1学年】

須田 千尋（南河内第二中）

「カルメ焼きを上手に楽しく作るには、少しだけ酸性とアルカリ性その3」

隅内 寿尚（石橋中）

「高分子吸収体のミニ研究」

和田祐貴子（石橋中）

「水と油を混ぜるには」

齋藤 祐貴（国分寺中）

「リモネンの効用について」

鈴木 泰斗（国分寺中）

「砂糖の大結晶を作る」

【第2学年】

五味 悠介（南河内第二中）

「蚕の研究（〜核多核体病ウイルスの正体〜）」

辻村 里奈（石橋中）

「What's 紫外線」

石井 桜子（石橋中）

「メンゲの性質を調べる」

【第3学年】

松本 彬（南河内中）

「続・雲で明日の天気は予測できるのか」

小池穂菜美（石橋中）

「銀のなぞ？パート」

小沼 雅世（国分寺中）

「洗面器を使った声によってできる模様の研究」

下野市民生委員児童委員の4氏が表彰されました

第16回栃木県民生委員児童委員大会が11月13日（月）、宇都宮市文化会館にて行われ、本市民生委員児童委員の梅山久男氏（下長田在住）・石岡圭介氏（下古山在住）・稲葉ハツエ氏（小金井在住）・田村敬子氏（川中子在住）の4氏が8年の活動功績が認められ、栃木県民生委員児童委員協議会会長表彰を受けられました。

また、現在も地域住民の立場に立って相談・援助を行い、社会福祉の増進に尽力されています。



下野市更生保護女性会員の11氏が表彰されました

平成18年度栃木県更生保護事業関係者顕彰式が11月27日（月）、宇都宮市文化会館にて行われ、本市更生保護女性会員の11氏の活動功績が認められ、次のとおり表彰されました。

（敬称略）

日本更生保護女性連盟会長表彰

小島喜美子

関東地方更生保護委員会委員長感謝状

佐藤 和子

関東地方更生保護女性連盟会長表彰

諏訪美津枝

栃木県知事感謝状

海老原静江 川俣 シゲ

宇都宮保護観察所長感謝状

山岸 洋子 梶谷キヨ子

千葉 重子 飯沼 恭子

上野 勇子 大越 信子

また、現在も女性としての立場から地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、社会福祉の増進に尽力されています。



統計調査員が表彰されました

第44回栃木県統計大会が11月15日（水）、栃木県総合文化センターで行われ統計調査に多大なご尽力をされた次の方が表彰されました。（敬称略）

総務大臣表彰

松本 典子（下古山）

梅田恵美子（緑）

植竹ゆかり（小金井）

厚生労働大臣表彰

栃木ビル商事㈱（業師寺）

栃木県統計協会名誉会長表彰

倉井 栄（小金井）

橋本真差子（中大領）



また、経済産業省より功労統計調査員に対する感謝状が次の4名の方に送られました。（敬称略）

佐藤 昭正（川中子）

蓬田 義（仁良川）

川俣 英生（上坪山）

倉井 正子（石橋）